

【会議名】 令和7年度 第2回 松江地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会

【日 時】 令和7年 10月 15日(水) 13時 30分～15時 30分

【場 所】 松江合同庁舎2階講堂(対面・WEB 併用)

【出席者】 別添出席者名簿のとおり

1. 議事内容の概要

1. 開会あいさつ

(松江保健所長 片岡所長)

出席者への謝意とともに、本日の主題が「安来市立病院の病床機能再編支援事業に係る圏域意見(案)」であること、及び地域全体での医療・介護連携の重要性を確認し、圏域全体として方向性を共有したい旨の挨拶があった。

2. 報告事項

(1) 松江地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会設置要領改正【設置要領改正(案)】

- 医療・介護連携部会に副部会長を設置し、委員構成を明確化する内容が承認された。

(2) 部会長・副部会長の選出

- 事務局案により、以下のとおり選出された。
部会長:松江市医師会 副会長 松嶋 永治氏
副部会長:松江市歯科医師会 会長 吉川 浩郎氏
- 松嶋部会長および吉川副部会長より就任の挨拶があり、以後の議事進行を松嶋部会長が担当した。

(3) 外来医療提供体制について【資料 1-1～1-2】(説明:事務局)

- 松江圏域は外来医師多数区域に該当し、令和7年度は 13 施設すべてから新規開設同意を取得。
- 医療機器共同利用計画は5件提出され、CT・マンモグラフィー等の更新が進んでいる。
- 紹介受診重点医療機関5病院の指定継続が報告され、基準未達病院は改善計画を提出済み。今後、令和8年度・紹介受診重点医療機関の選出に係る協議を本部会書面会議で実施予定。

(4) 松江市・安来市の介護保険事業計画について

松江市(介護保険課)

- 第10期介護保険事業計画策定に向け、介護予防・在宅生活支援・デジタル活用に関する調査を実施中。
- 高齢者人口は約 5.9 万人、要介護認定率 19.8%と微減傾向。
- フレイル予防や住民主体の通いの場「なごやか寄り合い」等を通じ、地域支え合いの仕組みづくりを推進している。

安来市(介護保険課)【別添資料】

- 中山間地域における訪問介護事業所開設支援(3年間)を継続実施中。
- 介護人材の就業継続支援補助金を新設し、人材定着を図っている。
- 若年層への介護職理解促進を目的に「介護のヒーロー図鑑」を作成し、学校等で啓発活動を実施。
- 第10期計画において、デジタル機器保有状況や在宅支援の実態を把握する調

査を実施予定。

(5) 松江圏域における医療・介護連携について【資料2】(説明:事務局)

- 圏域では人口減少と高齢化(高齢化率約 35%)が進行している。
- 死亡場所は病院が約8割を占めるが、施設および自宅での看取りの割合が増加している。
- 医師・看護職員とも減少傾向にあり、慢性期病床の減少と急性期偏在が課題である。
- 在宅医療の面では、安来市内で鳥取県や奥出雲町からの訪問診療が増加している。
- ICT 連携(まめネット)の登録状況には地域差が見られる。

(6) 松江市医師会における今年度の取組(報告:松江市医師会 松嶋副会長)

- 在宅医療連携コーディネータを継続配置
- 在宅看取りへの対応として代診医制度を運用している。
- 医師会を中心に、関係機関との連携および情報共有の場を設けて取り組んでいる。

3. 閉会あいさつ

(松江保健所長 片岡所長)

出席者への謝意が述べられ、地域医療構想および介護医療計画の策定に向け、医療・介護・在宅の多職種連携を一層深化させるよう呼びかけ、閉会した。